

校長室だより第 10 号（令和 5 年 6 月 5 日）

6 月 2 日（金）は 3 年生が千葉港やポートタワーに行く校外学習でしたが、台風 2 号の影響もあり、延期となりました。船の欠航も前日から決まっていたし、ポートタワーの展望台に上がっても周りを見渡すこともできないので仕方ありません。延期日が良い天気になりますように。保護者の皆様には、もう一度お弁当を作っていただくことになります。お手数をおかけします。

今日（6 月 5 日）から「ボール投げ教室」が始まりました。参加は自由。業間休みを使って、4 つの場で子どもたちはボールを投げます。場に応じてボールも違います。

防球ネットに取り付けられたポケモンの的に柔らかなカラーボールを当てる場には低学年が多く、的に当たるたびに「ゲットだぜ！」の音が聞こえてきます。

2 つ合わせた一斗缶が的になっている場では、柔らかいドッジボールを投げます。当たる度に「バンッ」といういい音が響きます。

ひたすら玉入れの球を投げる場は、ソフトボール投げの練習です。

その隣では、1 m ごとにラインがひかれた場があり、実際にソフトボール投げを体験できます。（投げるのは、ソフトボールと同じ大きさの柔らかいボールです。）こちらは、1 度に一人しか投げられないので列ができていました。どの場でも、子どもたちが夢中でボールを投げています。

松ヶ丘小学校で「ボール投げ教室」を行う理由は、全国的に投げる力が低下しているからです。11 歳の男子の平均値を例にとります。

1965 年には 34.4m 投げていたソフトボールの記録が、2005 年には 29.8m、2015m には 27.41m、そして 2022 年には 25.39m と低下しています。

人気スポーツの変化。外遊びの変化。そもそもテレビゲームをすることが増え、外で遊ぶこと自体が減り、ボールを投げる機会が減少等、原因は明らかです。そこに拍車を掛けたのがコロナ禍なのは言うまでもありません。

ボールを投げる経験が豊富だと、生涯でスポーツをより楽しむことに繋がると思います。「ボール投げ教室」で腕を磨き、ボール遊びに親しむ子が増えるといいと思います。